

第2学年 図画工作科学習指導案

展開場所 学習室

1 題材名 つないで つるして ~つないでつくる 2-1 ワールド~ (造形遊び)

2 題材について

造形遊びは、児童が材料などに進んで働きかけ、自分の感覚や行為を通して捉えた形や色などからイメージをもち、思いのままに発想や構想を繰り返し、技能を働かせてつくることである。本題材では、身近な材料である新聞紙やチラシ、再生紙、色画用紙などを切った細い紙をつないだりつるしたりしながら、思い付いたことを工夫してつくる活動を行う。つないだりつるしたりする活動を楽しみながら、生まれる形や色の面白さに気付いたり、友だちと一緒に協力して活動するよさを感じ取ったりすることができるようにしたい。

本題材は、学習指導要領の目標(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」(2)「造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」(3)「楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。」を受けて設定している。これらの目標を受けて、とくに内容「A 表現」(2)ア「造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。」に重点を置いて指導する。そこで、児童の思いが実現できるような十分な紙の準備や場の設定、多様なつなぎ方やつるし方を見合う鑑賞の時間や危険なく活動に取り組むための安全性の確保、様々な発想に触れ表現の仕方を高めるための友だちとの関わり方に配慮していくようにする。

3 題材の目標

- (1) 細い紙をつないだりつるしたりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付く。
(知識及び技能)
- (2) 紙、セロハンテープ、のりに十分に慣れるとともに、つないだりつるしたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくる。(知識及び技能)
- (3) 細い紙やつないだりつるしたりしてできた形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。(思考力・判断力・表現力等)
- (4) 自分たちがつくったものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(思考力・判断力・表現力等)
- (5) 楽しく細い紙をつないだりつるしたりしながら、思い付いたことを工夫してつくり、つくりだす喜びを味わう。
(学びに向かう力・人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○細い紙をつないだりつるしたりす	○いろいろな形や色などを基に、	○つくりだす喜びを味わい、楽しく

<p>るときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。</p> <p>○紙、セロハンテープ、のりに十分に慣れるとともに、つないだりつるしたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。</p> <p>(創造的技能の内容)</p>	<p>自分のイメージをもちながら、細い紙をつないだりつるしたりしてできた形や色を基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>○いろいろな形や色などを基に、自分たちがつくったものの造形的な面白さや楽しさ、造形的な活動、つくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>(発想・構想、鑑賞の能力の内容)</p>	<p>細い紙をつないだりつるしたりしながら、思い付いたことを工夫してつくる学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度の内容)</p>
---	---	--

5 指導と評価の計画(3時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等				備考	
		知 技		思 態			
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1	<p>○接着方法や気を付けること、材料置き場や場の確認をする。</p> <p>○つなげ方やつるし方を工夫して、自分の思いに合わせて紙をつなげる。</p>	○ 観察	○ 観察			○ 観察 対話	1時間目は「知識・技能」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
2 (本時)	<p>○自分のおすすめポイントや友だちのよいところを伝え合う。</p> <p>○思い付いたことを試しながら、さらに紙をつなげたりつるしたりする。</p> <p>○自分たちがつくったものを鑑賞する。</p>	○ 観察	○ 観察	○ 観察 対話			2時間目は「知識・技能」、「思考・判断・表現」と関連付けて、の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
3	<p>○自分がつくったところを記録する。</p> <p>○活動を振り返る。</p>				◎ 作品 ワークシート		3時間目は「思考・判断・表現」の視点で児童の学習状況を把握し、最後に記録に残す。

6 材料と用具

材料	用具
新聞紙、チラシ、色画用紙や模造紙・再生紙などの端切れ、包装紙、裁断機で切った紙の切れ端	のり、セロハンテープ、はさみ、養生テープ

7 本時の指導

(1) 目標

- 思い付いたことを試しながら、さらに紙をつないだりつるしたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくりすることができる。(知識及び技能)
- つないだりつるしたりしてできたものの面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。(思考力・判断力・表現力等)

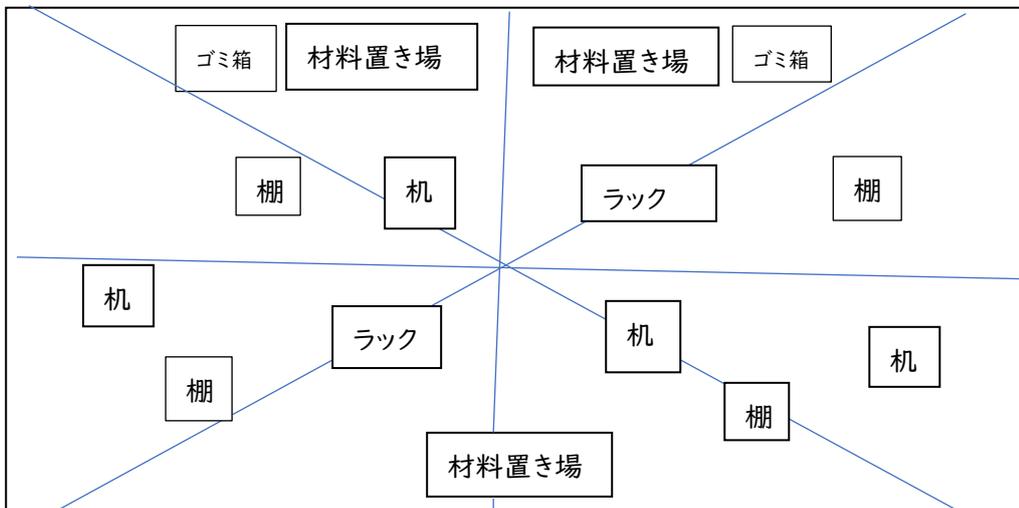
(2) 展開 (2/3)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
<p>1 前時の活動を振り返り、本時の活動の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙を使って楽しもう。 ・新聞紙や折り紙、いろいろな種類の紙があるよ。 ・紙はどうやって使おうか。 ・くっつける方法がいろいろあったね。 ・引っかかって転んだり、作品を壊したりしてしまうから走らないようにしよう。 	<p>○前時の活動を振り返り、本時の意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○本時のめあてをつかみ、活動内容を確認する。</p> <p>○接着方法や気を付けること、材料置き場や場の確認をすることで、児童が安心、安全に活動に取り組むことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップや算数セットの用具を並べたときの様子が分かる写真 ・接着方法の掲示物
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">つなぎ方やつるし方をくふうして、2-1ワールドを広げよう。</div>		
<p>2 つなぎ方やつるし方を工夫して、自分の思いに合わせて紙をつなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかをつくってつなげてみようかな。 ・とちゅうで紙をかえてみようかな。 ・ここまで長くつなげたいな。 ・合体させようよ。 ・ゆるくつなげてみたら、なみみたいになったよ。 ・のれんみたいにたくさんたてにつるしてくぐってみたい。 ・高いところにつるしたいな。 ・たくさんつるしたら、ジャングルみたいになったね。 	<p>○活動が進まない児童には、友達の様子を見に行ったりよいことを伝えたり一緒に見に行ったりし、イメージが膨らむようにする。</p> <p>○工夫しているところを称賛し、活動への意欲が高まるようにする。</p> <p>○途中でつなぎ方やつるし方の工夫を紹介することで、よりイメージを膨らませたり友達の工夫を自分の活動の中で生かしたりすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙類 新聞紙 チラシ 色画用紙や模造紙、再生紙などの端切れ 包装紙 裁断機で切った紙の切れ端 ・接着用具 のり セロハンテープ 養生テープ

<p>3 お互いに鑑賞し合い、活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の工夫やよかったところを伝え合う。 ・今日の活動の感想を伝え合う。 	<p>◆思い付いたことを試しながら、さらに紙をつないだりつるしたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくることができる。(知識及び技能)</p> <p>○友達との活動を通して、新しい形を発見し、いろいろな表現があることを知ることができるようにする。</p> <p>◆つないだりつるしたりしてできたものの面白さや楽しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飾る用 児童用机 棚 ハンガーラック
---	---	---

(3) 場づくり(学習室)

- ・ひもをつるしておく。
- ・個人で使う材料や用具は、算数セットの蓋に入れ、ひとまとめにする。
- ・飾る用として児童用の机や棚、ハンガーラックなどを設置する。(児童の活動に合わせて配置を変える)



8 主な引用/参考文献等

- ・図画工作 教師用指導書 朱書編『たのしいな おもしろいな ずがこうさく1・2下』(日本文教出版) 2020年3月
- ・図画工作 教師用指導書 指導解説編1・2下(日本文教出版)2020年3月